

木古内中通信

木古内中学校学校便り 第11号
令和8年2月2日発行
〒049-0431 字木古内194番地5
電話 (01392) 2-2104



保護者の皆様にもお読みいただき、子どもと語り合っていたきたい内容です。

「 3学期はどんな時期か 」

校長 深見 亘

1月16日(金)に3学期が始まりました。前日のみそぎ祭りの行列には、20名を超える生徒が参加し、木古内町の歴史と伝統に参加していました。こういった取組が、受け手を育てていくことにつながると思います。

私はみそぎ祭りへの参加は初めてでしたが、多くの人々の安寧と幸せを願って、我が身を厳しい条件において、真摯に祈るという姿に感銘を受けました。北海道の中では、196回という回数を誇る行事は、そうあるものではありません。地域の誇りであり宝だと思います。こうした素晴らしい行事が、木古内町の子どもたちの心にルーツとして刻まれていくということは幸せなことだと改めて感じました。

→ noteの1/15を参照

さて、始業式では、いつもの様に、スライドに言葉を示しながら、「3学期はどんな時期か」というお話をしました。noteの1/16の記事は短すぎたので、こちらでお示しします。

3学期は、1年間のまとめの時期です。そして、まとめとは、「振り返りと見直し」をすることです。これは、大人の職場では行われていることですので、保護者の皆様におかれては、機会を見てお子様に質問してみてください。

私は次のことを問いました。「目標は達成できそうか」「どんな点が成長したのか」「やり残したことはないのか」です。もちろん、保護者の方とお子様で何か約束があれば、そういったことを問うことも大切だと思います。

次に私が問うたのは、「来年はどんな学年なのか」「次は何を努力するつもりなのか」「今からできることはないか」です。今、4月からのことを考えたり、準備したりして、できれば試してほしい時期です。学習面、生活面、委員会や係活動の面など、変わる要素は様々にあります。3学期は、振り返りと見直しにより、自分を変える時期にしてほしいと考えます。

→ noteの1/16を参照

さらに、生徒には「こんな姿が見たい」と具体例を示しました。

- ・授業に集中して課題に取り組んでいる
- ・授業後や放課後に質問したり、学習方法を教わったりしている
- ・委員会や係の活動で進んで提案している
- ・学級の雰囲気をよくしようとしている
- ・場面や相手に合わせた言動ができている
- ・高校や次の学年で頑張りたいことを話している

さっそく、1月20日の生徒会執行部が企画した、「放課後勉強会」でその姿が見られました。

12月に試行実施した際は、1人1人が机に向かって学ぶという様子でしたが、この日は、どんどん席を立って、先生に質問している姿が見られました。

分からないことを分かるようにするのが学習ですから、この姿は本当に素晴らしい姿です。時間を気にせず先生に質問できるチャンスを生かし、自分が分かるまで学ぶことができていました。

できる問題をたくさんこなして気持ちよくなっても、力はあまり伸びません。多少、解答のスピードや正確さは上がるかもしれませんが…。

しっかり力を伸ばすには、分からない問題や忘れているかもしれない問題に取り組むことが必要です。

こういう場を用意してくれた生徒会執行部に改めて感謝します。そして、積極的に参加した生徒の皆さんも継続して力を付けていってください。

→noteの1/20を参照

私たちは、生徒が向上していくための、場を用意し、取組とやる気を支援していきたいと考えています。ぜひ保護者の皆様からも、アドバイスや応援の声をよろしくお願いたします。

木古内中学校公式 note とは

<https://kikonai-jhs.note.jp/>
一般公開用のため、顔をぼかした写真ですが、素早い情報公開を心掛けています。



第196回寒中みそぎ祭り

木古内中の生徒が多数協力

木古内町の伝統行事「寒中みそぎ祭り」を支えるため、本校から多くの生徒が参加しました。参籠報告祭スタッフに2名、みそぎ行列に20数名、みそぎ囃子・太鼓に計4名が携わり、祭りを盛り上げました。特に参籠報告祭の2日間、行修者と同様の食事制限を受け、不眠不休で大役を果たした生徒の言葉が印象的です。「疲れ果てて『もうやりたくない』と思うほど過酷だったが、命に向き合う神事の重みを感じ、必死に役目を果たし切った」。この壮絶な経験を通じ、生徒は故郷の誇りと責任を肌で感じたはずです。伝統の担い手として、その精神を次代へ引き継いでいってくれることを期待しています。



いじめ見逃しゼロをめざして

生徒の安心・安全を守る

昨年の初冬、今年度第2回の「いじめアンケート」を実施しました。その結果を受け、本校では春の調査以降、新たに3件を「いじめ」として認知しました。現在は、いずれの事案もいじめ行為は止んでおりますが、今後も慎重に見守りを継続してまいります。また、明るい話題としましては、6月の「いじめ撲滅集会」で作成した3年生のいじめ防止メッセージが、このたび絆づくりメッセージコンテストの渡島奨励賞に選出されました。

【受賞作品】「誰かの『つらい』に気づけるようになろう」

このメッセージを胸に、全校生徒が安心して、安全に学校生活を送れる環境づくりに、教職員一同、生徒とともに全力で取り組んで参ります。

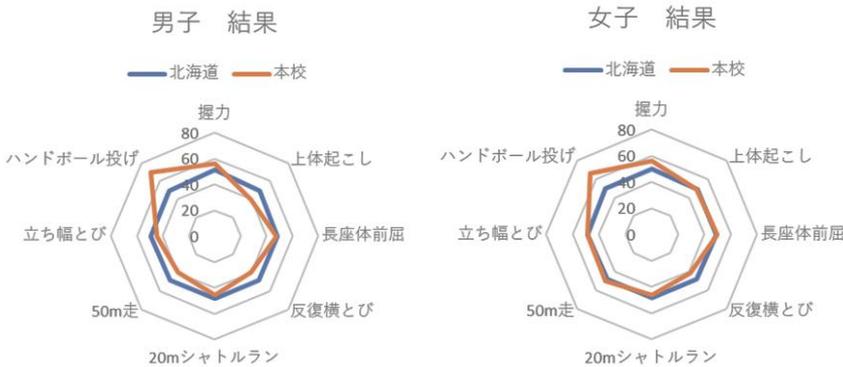


その他の教育活動

1月19・20日に、外部講師を招き、各学年でがん教育を行いました。

R7全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果（中学2年生実施）

※北海道の平均を50と設定



○分析と改善

本校では例年、全国体力・運動能力等調査の結果において、持久力および反復横跳びの数値が低い傾向が見られていました。そこで、保健体育科の授業を中心に、3分間走やリズムジャンプトレーニングの実施、授業中の運動量の確保などに取り組み、体力の向上を図ってきました。その結果、持久力については一定の改善が見られましたが、反復横跳びについては十分な数値の向上には至らず、引き続き課題として捉えています。今後は、これまでの取組を検証しながら、反復横跳びに必要な敏捷性や調整力を高める指導内容の充実を図り、さらなる体力向上につなげていきたいと考えています。

2月の主な行事予定

| | | | | | |
|----|---|---------------------|----|---|-------------------|
| 2 | 月 | 新入生体験入学 | 17 | 火 | 第4回学校運営協議会 |
| 4 | 水 | 1・2年第3回学力テスト | 19 | 木 | 1年みそぎ太鼓体験会（小6と合同） |
| 5 | 木 | 新入生保護者説明会 | | | 第3回生徒指導常任委員会 |
| 6 | 金 | スクールカウンセラー来校 | 23 | 月 | 天皇誕生日 |
| 10 | 火 | 公立高校推薦入試日（3年4時間授業） | 25 | 水 | 全校集合写真撮影 |
| 11 | 水 | 建国記念日 | 26 | 木 | 1年札幌日大との交流学习 |
| 13 | 金 | 私立高校一般入試日（全学年5時間授業） | 27 | 金 | 定例委員会⑩ |
| 16 | 月 | 1・2年学年末テスト | | | |

別紙、「学校評価アンケート結果」
もご覧ください



木古内町立木古内中学校 学校評価アンケート 結果（後期）

令和8年2月2日

教員・生徒・保護者にとった今年度前半のアンケートを集約・検証した結果をお知らせいたします。**A**(当てはまる)・**B**(どちらかという当てはまる) **評価だった割合を数値で掲載**しております。後期も本校の教育活動の充実に向けて全力を尽くして参りますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。また、12月にも同様のアンケートを実施しますので、御協力をお願いします。

回収率：教員100%、生徒98%、保護者95%

| 評価 達成率（教員・生徒・保護者） | | 80%以上：A | 80%未満65%以上：B | 65%未満：C | | | | |
|-------------------|--------|---------|--|---------|-----|-----|---|--|
| 評価対象・評価項目 | | 前期 | 後期 | 年間 | 評価 | | | |
| 1 | 校訓 | 教員 | 子どもたちに自律・連帯・創造の力が身につくよう、校訓を常に意識している。 | 100 | 93 | 96 | A | |
| | | 生徒 | 仲間と協力して支え合い（連帯）、新しいものを創り上げる（創造）力を身につけようとしている。 | 100 | 92 | 96 | | |
| | | 保護者 | お子様は、意欲や自信を高められるよう、自律的に学習活動に励もうとしている。 | 75 | 77 | 76 | | |
| 2 | 開かれた学校 | 教員 | 積極的な情報発信をおこなっている。（例）学校だより、学級通信など | 75 | 93 | 84 | A | |
| | | 生徒 | 学校だよりや学級通信を進んで読んでいる。 | 71 | 75 | 73 | | |
| | | 保護者 | 学校からの情報が適切に提供されている。 | 94 | 100 | 97 | | |
| 3 | 家庭学習 | 教員 | 家庭での学習の大切さを呼びかけ、生徒は毎日70分以上家庭学習をしていると感じる。 | 13 | 14 | 13 | C | |
| | | 生徒 | 家庭での学習の大切さを理解し、毎日70分以上家庭学習に取り組んでいる。 | 48 | 54 | 51 | | |
| | | 保護者 | お子様は学習の大切さを理解し、毎日70分以上家庭学習に取り組んでいる。 | 47 | 45 | 46 | | |
| 4 | 健康・安全 | 教員 | 生命を尊重し、健康安全や体力向上を育む態度の育成に努めている。 | 100 | 93 | 96 | A | |
| | | 生徒 | けがや病気の予防に心がけ、体力向上に努めている。 | 89 | 83 | 86 | | |
| | | 保護者 | お子様は学校で、健康で安全な生活ができるよう取り組んでいる。 | 94 | 100 | 97 | | |
| 5 | 楽しい学校 | 教員 | 子どもたちが安心して楽しく過ごせるように努めている。 | 100 | 100 | 100 | A | |
| | | 生徒 | 学校は安心して楽しく過ごすことができる場所になっている。 | 85 | 83 | 84 | | |
| | | 保護者 | お子様は学校生活を楽しいと思って過ごしている。 | 84 | 93 | 89 | | |
| 6 | 将来に向けて | 教員 | 道徳やキャリア教育、キャリアパスポートなどを通じて、生徒に将来の希望をもたせるよう指導している。 | 88 | 100 | 94 | A | |
| | | 生徒 | 将来の自分の生き方や希望する進路などについて考え、家族や友人、先生などと話し合っている。 | 83 | 83 | 83 | | |
| | | 保護者 | お子様は将来の夢や希望をもっている。 | 71 | 73 | 72 | | |
| 7 | わかる授業 | 教員 | 課題を提示したり、ICTを活用したりして、子どもに見通しをもたせた授業づくりに努めている。 | 88 | 93 | 90 | A | |
| | | 生徒 | 授業で学習課題が提示されていて、ICTが活用されており、わかりやすく学んでいる。 | 94 | 92 | 93 | | |
| | | 保護者 | 中学校の授業は、お子様にとって、わかりやすく工夫されている。 | 92 | 82 | 87 | | |
| 8 | あいさつ | 教員 | 子どもたちと積極的にあいさつをしている。また、あいさつの指導をしている。 | 94 | 93 | 93 | A | |
| | | 生徒 | あいさつは、立ち止まって、自分から進んで行っている。 | 77 | 85 | 81 | | |
| | | 保護者 | お子様は家庭や地域で元気なあいさつができています。 | 94 | 86 | 90 | | |
| 9 | いじめ防止 | 教員 | いじめの未然防止に努め、日頃から「いじめの定義」等について生徒に指導している。 | 100 | 100 | 100 | A | |
| | | 生徒 | 「いじめ」について、いじめをしない、させない、見逃さない、許されないことだと思っている。 | 96 | 96 | 96 | | |
| | | 保護者 | 「いじめ」はいけななことだと家庭でも話している。 | 100 | 100 | 100 | | |
| 10 | 生活習慣 | 教員 | 生徒が望ましい生活習慣を送れるよう、さまざまな場面で指導をしている。 | 100 | 100 | 100 | A | |
| | | 生徒 | 規則正しい生活を送っている。 | 81 | 79 | 80 | | |
| | | 保護者 | お子様はご家庭で決めている就寝・起床時間を守り、規則正しい生活を心がけている。 | 82 | 73 | 78 | | |

本校の成果と課題

○2. 開かれた学校

教職員評価と保護者評価の結果が向上し、後期は特に保護者評価において肯定的な回答（あてはまる・ややあてはまる）が100%に達しました。note等を活用した積極的な情報発信が実を結んでいるようです。今後も更新状況を丁寧にお伝えし、さらなる連携強化を図ります。

○9. いじめ防止

学校の対応への高い信頼をいただいた結果、年間を通してもっとも肯定的な回答が多かった項目です。校訓の「連帯」に基づき、共感的な人間関係の育成といじめの早期対応を徹底しています。今後も全教職員で生徒の安心・安全な環境を守っていきます。

▲3. 家庭学習

年間を通じて肯定的な回答が少なく、本校最大の課題となっています。家庭学習の定着に向け、今後は学校全体で家庭学習の仕組みづくりを進め、生徒一人一人が継続して家庭学習に取り組めるよう支援してまいります。お子様の学力向上と希望する進路の実現に向けて、ご家庭と連携しながら、家庭学習習慣の定着を共に目指していければと考えております。

▲10. 生活習慣

年間を通してA評価ではありますが、前期と比較すると一部の生徒において数値の低下が見られ、生活習慣に課題がうかがわれます。今後も「自律」した生活習慣の定着に向けて、継続的に指導してまいります。ご家庭におかれましても、就寝時間が過度に遅くならないようご配慮いただくことや、スマートフォンやゲームの利用時間等について改めてご確認いただくようお願いいたします。